

平成 30 年 12 月 3 日

December 3, 2018

大学院学生各位

To All Graduate Students

平成 30 年度

基盤医学特論 開講通知

Information on Special Lecture Tokuron AY2018

題目： ショウジョウバエを用いた睡眠研究：睡眠誘導因子「nemuri」の発見

Title: Genetic dissection of sleep in Drosophila: Discovery of a sleep-inducing factor, “nemuri”

講師：戸田 浩史 先生

ハーワードヒューズ医学研究所/ペンシルベニア大学 リサーチスペシャリスト

Teaching Staff: Hirofumi Toda, Ph.D

Research Specialist at HHMI/University of Pennsylvania

日時：平成 30 年 12 月 14 日 (金) 15:00—16:30

Time and Date: December 15:00—16:30 14th December (Fri), 2018

場所：名古屋大学 環境医学研究所 北館セミナー室 (東山)

Room: Research Institute of Environmental Medicine Room No.N201

※関係講座部門等の連絡担当者：環境医学研究所・分子神経科学 竹本（木村）さやか（3879）

Contact: Sayaka Takemoto-Kimura (3879)

使用言語：日本語 *事前連絡は不要です。 Lecture in Japanese. No registration required.

睡眠を誘う“眠気”の正体とは何でしょうか？愛知県立医学専門学校（現名古屋大学医学部）の石森教授は断眠をした犬から脳脊髄液を抽出し、起きている犬に導入したところ、たちまち、この犬は深い眠りに誘われることを発見しました。これは、眠くなると「睡眠誘発因子」が誘導されるということを実験的に示した世界で最初の報告です。約100年前のことです。それ以降、様々な研究者がこの睡眠誘発因子の分子同定を行うべく研究を行ってきましたが、困難を極めていました。我々は眠気を誘う分子学的基盤を確立すべく、遺伝学の優れたモデル生物であるショウジョウバエを用いて研究を行いました。大々的なゲノム規模の遺伝学的探索を行った結果、睡眠を誘発する新規遺伝子の同定に成功し、その遺伝子を「nemuri」と名付けました。本セミナーでは、新規遺伝子 nemuri の睡眠における役割を紹介することで、聴衆の皆様の睡眠に対する理解が深まる一助になれば嬉しく思います。

参考文献

Toda H, Williams JA, Gullledge M, Sehgal A. A sleep-inducing gene, nemuri, links sleep and immune function. *Science*. in press, 2018.

医学部学務課大学院係 Student Affairs Division, Graduate School of Medicine